

# 技の



# 学び方 教え方

森 和夫

JAVADA選書

## 目次

まえがき	6
この本の構成と読み方	8
第一章 技を学ぶとはどのようなことか	11
1 技を学ぶ	12
2 技の学び方・教え方に対する誤解	13
3 技とは何か	14
4 技を学ぶことは人間の何が変化することか	16
第二章 職人の技と生き方から学ぶ	21
1 達人が語る技	22
2 職人の技と生き方に学ぶ	24

3	優れた技の世界	25
4	職人仕事の特徴	29
5	技の持つ宿命	34
6	職人の技と文化	36

### 第三章 技能研究でわかったこと

1	技能研究の歴史を見る	40
2	技能研究の方法を知るとは技能伝承にも役立つ	41
3	技能研究でわかったこと	46
4	上達を技能習熟曲線でみる	50
5	運動や動作から技能習熟の過程をみる	53
6	イメージトレーニングは役立つか	55
7	航空機パイロットの訓練と能力の変化	56
8	技能習熟と情報理論	57

— 技が上達するとはどのようなことになるのか — 39

9	溶接作業中に何を見ているか、どう見るようになるか	59
10	機械加工技能の習熟で能力が変わる	63
11	機械加工技能の能力構造はどのようにして育つか	66
12	作業段取り能力群の形成過程	69

#### 第四章 作業段取りは技の中央制御室

1	作業段取りとは何か	72
2	学習に作業段取りの効果はある—大量調理作業の実験から	73
3	作業の全体像の記述がもたらすもの	77
4	作業概念を味方につける	80

#### 第五章 運転技能を学ぶ

1	何が運転技能の上達を左右するのか	88
2	移動式クレーン運転技能の実験	92

## 第八章 技を伝えるには

3	実験を開始する	98
4	学生達の荷の軌跡を見る	101
5	荷物の「振れ」の解析	108
6	クレーン運転技能習熟の特徴	115
7	生体機能の変化から課題コースの困難度を推定する	117
8	移動式クレーン運転技能の構造をデッサンする	123
1	技を伝える手段	126
2	体験させて伝える	127
3	見せて伝える	129
4	言って伝える	131
5	動作、運動で伝える	132
6	自分で工夫させて伝える	133
7	複数の手段を組み合わせて効果を最大にする	134

第七章 技能の種類と学び方・教え方……………135

1 技能の種類……………136

2 訓練の時期別に見た技能の学び方、教え方……………139

3 運動系技能の学び方、教え方……………141

4 知的管理系技能の学び方、教え方……………144

5 対人技能の学び方、教え方……………148

第八章 複合した技能の学び方……………151

1 保全マンに聞く保全技能を学ぶ機会……………152

2 保全技能者に必要な能力・資質……………164

あとがき……………168

参考文献……………170

## 技の学び方 教え方

定価1,680円 (本体価格1,600円+税80円)

---

平成14年3月 初版

著 者 森 和 夫

発 行 中央職業能力開発協会  
〒112-8503 東京都文京区小石川1-4-1  
住友不動産後楽園ビル  
TEL. 03 (5800) 3237 (広報出版課)

---

印刷所 株式会社 キタジマ

---

ISBN4-88769-120-3 C0037 ¥1600E

©2002 (検印省略) 落丁・乱丁本はお取り替えいたします。



9784887691209



1920037016005

ISBN4-88769-120-3

C0037 ¥1600E

定価(本体1600円+税)

**仕事や生産に関わる技能に限定して考えれば、習熟のプロセス**は一定の法則性ともいえるべきものが見出せることがわかるだろう。言い換えれば、技の学習には法則性があるということだ。技の習得によって、能力はどう変わっていくか、どう構造化されていくかと探究は進められていく。

その結果、技は上達してくると、能力が実際の・実践的な内容に向けて進化し、細分化もするようになるのである。だから、教え方はこれを促進するように支えていけばよいのである。